



東日本ユニオンにいがた

<http://niigatachihon.yukigesho.com/>

JR東日本労働組合新潟地方本部

2025年11月 1日発行

第15号（通巻第375号）

発行者：星山 圭 編集者：組織部

横浜地本で 新たな仲間が加入！



新たな仲間と 共にがんばろう！！

新潟地本は10月24日、申5号・新潟駅手歯止め作業における適正な労働時間を求める申し入れを提出しました。新潟駅での手歯止め装着作業に必要な付加時間の付与を求めます。

新潟統括センター新潟乗務室の運転士・B1236行路は、越後線の169Mで新潟駅の2番線到着後、そのままホームに車両を留置するために手歯止め装着作業を行います。線路に降りる際には触車事故防止手配として隣接線路の抑止手配をとる必要がありますが、169Mの到着後、隣接する3番線から列車が発車するまでの時間が僅少であるために、隣接列車が発車するまで作業の着手を待つ必要が生じます。

しかし現行では、留置手配に関わる作業の労働時間に、隣接列車の発車を待つ時間は付与されていません。

新潟駅で手歯止めを装着する際には、直接電車から降車せずに、長岡方のホ

留置作業に必要な時間の付加を求める

申5号・新潟駅手歯止め作業における適正な労働時間を求める申し入れ

新潟地本は10月24日、申5号・新潟駅手歯止め作業における適正な労働時間を求める申し入れを提出しました。新潟駅での手歯止め装着作業に必要な付加時間の付与を求めます。

新潟統括センター新潟乗務室の運転士・B1236行路は、越後線の169Mで新潟駅の2番線到着後、そのままホームに車両を留置するために手歯止め装着作業を行います。線路に降りる際には触車事故防止手配として隣接線路の抑止手配をとる必要がありますが、169Mの到着後、隣接する3番線から列車が発車するまでの時間が僅少であるために、隣接列車が発車するまで作業の着手を待つ必要が生じます。

しかし現行では、留置手配に関わる作業の労働時間に、隣接列車の発車を待つ時間は付与されていません。

新潟駅で手歯止めを装着する際には、直接電車から降車せずに、長岡方のホ

本部が基本要草案を公表 定年退職まで安心して働ける 制度をみんな実現しよう！

中央本部は経営側より「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」の提案を受けて以降、団体交渉を通じて解明を進めてきました。

会社提案は定年年齢の延長が大きな特徴であり、職場では環境、条件、健康などの面から多くの不安の声が聞かれます。

東日本ユニオンは、定年退職まで安心して働ける制度の実現に向け、全組合員で要求を創り上げる取り組みを行ってきました。

中央本部は10月13日に、組合員の議論で創り上げた意見をもとに「能力昇給ではなく職制別に一律の定期昇給制度とする」と「事業本部内の主たる勤務地及び主たる担務の希望を把握し、組織の見直し実施前に社員に示すこと」など30項目余りからなる東日本ユニオン基本要草の第一次草案を、24日には項目を追加した第二次



東日本ユニオン本部は、基本要草のページからご覧いただけます。

草案を公表しました。定年退職まで安心して働ける制度を実現するために、JR東日本で働くみなさんの声で基本要草の草案をさらに豊富化していきます。みなさんの意見を、私たちにお聞かせください！

上中越支部は9月12日に、まちなかキャンパス長岡において、第15回定期大会を開催しました。

代議員、傍聴者など総勢37名の組合員の結集のもと、1年間の運動を振り返ると共に、向こう1年間の運動方針を確立しました。

質疑では6名の代議員から「支部の現状や組織運営上の課題と課題について」「フレックス制度導入に関わる様々な課題や問題について」「異動による手続きや単身赴任での様々な苦労や諸問題について」「組合員加入による今後の組織の在り方や目指すべき方向性」等々、私たちに課せられた課題や職場での問題について、様々な視点からの発言を受けました。

会社は「勇翔2034」を策定し、「JR東日本グループのさらなる飛躍に

向けた新たな組織と働き方」を進めようとしていますが、職場では不安・不満の声を溢れています。またこの施策に限らず、職場には多くの山積する問題も抱えています。

今大会を機に、あらためて労働組合の必要性と存在意義を前面に出し、組合員・家族の幸福と、退職まで安心して働ける会社・制度・賃金を実現するため、全組合員で向き合い取り組んでいくことを確認しました。

上中越支部には新たな若い仲間が増えていきます。組織としての運動にも若い感性やパワーが養われています。この勢いを次の運動に繋げながら、上中越支部の組織力をさらに向上させていきます！！

（上中越支部投稿）

そのため駅長との打ち合わせにより、隣接列車の発車前に抑止手配が出来た場合には、隣接列車の発車を遅らせないために急ぎ足で歩行するなど、性急な作業を強いられ、安全上でも課題が存在します。

新新潟地本は10月24日、適正な労働時間の付与を求めて、申5号・新潟駅手歯止め作業における適正な労働時間を求める申し入れを提出しました。



2025年度年末手当 全社員一律 3.7ヶ月分



退職まで安心して働き甲斐ある 会社・制度・賃金を実現させよう！

